

# 味覚の仕組み 児童学ぶ



チョコレートを食べても甘みを感じず驚く児童たち＝常滑市常滑東小で

チョコレートを食べても甘みを感じられず、「味がしない」などと驚いていた。

島村さんは、舌などにある食べ物の味を判別する感覚器官「味蕾」の構造を紹介。毒物などに敏感に反応できるよう、乳児の味蕾の数が大人よりも多いことなどを解説した。

味覚障害の苦しみにも触れ、「味を感じるのは当たり前のことではなく、ありがたい思っただけ」と語った。(安田功)

## 常滑東小

味覚の仕組みを学ぶ授業が二十六日、常滑市常滑東小学校であり、六年生百二十人が味覚障害の状態などを体験した。

講師は、日本福祉大健康科学研究所で客員研究所員を務める島村光治さん(四〇)＝飛香台。児童たちは、甘みを感じなくなるインド原産の植物「ギムネマ」を口にした。砂糖やチ

2015年1月28日(水)  
中日新聞朝刊  
知多版